

マニフェスト（政権公約）における医療政策に関する質問状

2009年8月13日

医療政策国民フォーラム「マニフェスト・プロジェクト」

1. 医療政策決定プロセス

特定の利害関係者だけではなく、広く国民の声をあつめて政策を立案し、実行することができる、透明で開かれた政策プロセスをどのようにつくりますか？

例えば、国の審議会や検討会への市民・患者の参加の仕組みをどのように作っていくか、またそれが形骸化しないためにどのような枠組みを作っていくか、など、具体的な内容とその達成期限を明記してご回答ください。

2. 医療政策の立案や評価に必要な情報や統計データの整備

客観的データに基づいた政策の評価や決定を行い、「良質かつ効率的な医療」システムを実現するために必要な、医療・介護の質、需要やコストなどに関する情報をどのように整備しますか？

例えば、中医協の医療経済実態調査への回答を医療機関に義務づけてデータの信頼性を高めたり、日本で不足している医療の質を明らかにするための疫学調査やレセプトデータの政策分析への活用を進めるなど、具体的な内容とその達成期限を明記してご回答ください。

3. 医療政策を実行するにあたり国民に理解や納得を求めるメッセージ

国民に対して理解や納得を求めるメッセージは何ですか？

増大する医療費の財源を確保するために、税・保険料負担・窓口負担などを今後どのようにしていくのか、それに対する国民の理解を得るために政府はどのような情報公開を行っていくのか、医療資源を浪費しないための利用者側の自覚を促す教育・啓発やルールの制定をどのように考えるか、医療提供者と患者・国民の相互理解を促し医療に対する満足度をあげるためにはどのような情報が提供されるべきで、患者・国民はそれをどのように活用すべきなのか、など、国民に伝えるべきメッセージを具体的な内容を明記してご回答ください。

以上の3点の質問についてご回答を頂きたく何卒よろしくお願い申し上げます。

※回答期限：2009年8月26日（水）

【質問の背景にある問題意識】

これまで、医療政策は誰もが納得できる明確な根拠に基づいて、開かれたプロセスで立案・実施されてきたとは言い難い。大多数の国民はわが国の医療政策決定プロセスの閉鎖性に極めて強い不満を持ち、政策に国民の声が反映されていないと感じている。

また、医療に関する基本的な統計情報が整備されておらず、客観的データに基づいた政策の評価や決定ができていない。

たとえば、厚生労働省が発表する国民医療費は、その範囲を傷病の治療費に限っているため、実質的に公的保険がカバーしている医療費のみを推計したものであり、正常な妊娠や分娩等に要する費用、健康診断・予防接種等に要する費用、入院時室料差額分の患者負担などの費用は計上していないため、国民が利用する医療の状況を正確に把握するためには極めて不十分である。

こうした状況は、国民の政治・行政に対する信頼を損ね、政府の政策立案・実行能力を低下させ、国民に負担や痛みを強いる改革の遂行を困難にしている。医療の質を高めるのに必要な抜本改革を進めるためには、国民への必要な情報の公開と政策プロセスの改革が不可欠である。

また、マニフェストに掲げられた内容が、国民に対する単なる「サービス合戦」に陥ることなく、費用負担や医療サービス利用のルールなど、国民が果たすべき役割についても明らかにする必要がある。

【プロジェクト・メンバー】

■「マニフェスト・プロジェクト」委員

秋元秀俊 編集ジャーナリスト／秋編集事務所代表取締役

井伊雅子 一橋大学国際・公共政策大学院教授

伊藤雅治 全国社会保険協会連合会理事長

岩瀬大輔 ライフネット生命保険代表取締役副社長

海辺陽子 癌と共に生きる会副会長

大熊由紀子 国際医療福祉大学大学院教授

大野善三 日本医学ジャーナリスト協会会長

大平勝美 はばたき福祉事業団理事長

落合慈之 NTT 東日本関東病院院長

勝村久司 厚生労働省中央社会保険医療協議会委員

神谷恵子 神谷法律事務所弁護士

河北博文 河北総合病院理事長

川淵孝一 東京医科歯科大学大学院教授

齋藤訓子 日本看護協会常任理事
清水康之 自殺対策支援センターライフリンク代表
田中滋 慶應義塾大学大学院教授
鳥集徹 ジャーナリスト
中田力 新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター長／カリフォルニア大学教授
西村周三 京都大学副学長
長谷川三枝子 日本リウマチ友の会会長
長谷川閑史 日本経済団体連合会議員会副議長
広井良典 千葉大学教授
藤本晴枝 地域医療を育てる会理事長
山本修三 日本病院会会長
和田努 医療ジャーナリスト
本田宏 済生会栗橋病院副院長
丸木一成 国際医療福祉大学教授・医療福祉学部長
三田村真 日本造血細胞移植学会評議員
宮脇正和 医療過誤原告の会会長
村上正泰 評論家
柳原三佳 ジャーナリスト／ノンフィクション作家
山本修三 日本病院会会長
和田努 医療ジャーナリスト
多田宏 国民健康保険中央会理事長（オブザーバー参加）

■顧問

奥田碩 トヨタ自動車株式会社相談役
金澤一郎 日本学術会議会長
田原総一郎 ジャーナリスト

■運営メンバー

小野崎耕平 日本医療政策機構事務局長補佐／当フォーラム・プログラムディレクター
坂野嘉郎 日本医療政策機構医療政策担当マネージャー

